

ホットニュース『三重の力を世界へ』

ESD in 三重 2014

~アジア・太平洋持続可能な開発のための教育(ESD)ユース世界会議~

を開催しました!



三重大学では平成26年11月7日(金)~11月12日(水)に「ESD in 三重 2014~アジア・太平洋持続可能な開発のための教育(ESD)ユース世界会議~」、12月6日(土)に「ESD in 三重 2014」国際会議を開催しました。アジア・太平洋地域の19ヶ国から210人の小・中・高・大学生が、文化や年齢の違いを超えた交流の中で、環境保全、国際理解、生物多様性、文化や伝統の保存・継承等のESDプログラムを体験し、持続可能な社会づくりに必要なことに気づき、考え、学びました。



日本語に訳すと、「持続可能な開発のための教育」だね!



アジア・太平洋持続可能な開発のための教育(ESD)ユース宣言(骨子)

1. 危険や安全に対する意識を高め、日ごろから身の回りのリスクを回避するために備えます。
2. 今ある生態系を保護し、資源の有効活用のための活動を展開します。
3. 豊かな自然環境を次世代に残していくために努めます。
4. 生活と環境の調和を保つために努めます。
5. 国際的な視点を持ち、アジア・太平洋ユースネットワークを強固にし、問題解決に協力します。



「ESD in 三重 2014」の意義と今後の取組



理事・副学長(企画・評価・環境担当)
国際環境教育研究センター(GECER)長
朴 恵淑

1992年の環境と開発に関する国連会議(地球サミット)及び2002年の持続可能な開発に関する世界首脳会議を踏まえて、2005年からスタートした国連持続可能な開発のための教育(ESD)の10年の最終年を迎え、2014年11月10日~12日に愛知・名古屋においてESDに関するユネスコ世界会議が開催されました。

三重大学は11月7日~12日に、世界の19カ国から210人のユースによる「ESD in 三重 2014」を企画し、三重大学練習船の勢水丸による伊勢湾洋上環境学習、鳥羽の海女との交流、海の博物館見学、松名瀬干潟の清掃及び生物多様性学習、斎宮歴史博物館見学、三重県総合博物館見学を行いました。その後三重大学において分科会、国際シンポジウム、ESDユース宣言(和文・英文)、名古屋国際会議場において三重大学ブース運営、ESDセミナーを開催し、さらに12月6日に、ポストESD国際会議を三重大学の環境・情報科学館及び名古屋国際会議場において開催しました。

「世界一の環境先進大学」を目指す三重大学は、2009年8月に日本の総合大学初となるユネスコスクールに登録し、2012年度から共通教育において三重大学ブランドのESDプログラムを開始、2013年度には学長によるESD修了証書が320人に授与され、そのうち新入生は280人でした。これは新入生の5人に1人に当たり、本学のESDの活性化に成功しました。さらに2014年度からは文部科学省のグローバル人材の育成に向けたESDの推進事業に採択され、産官学民の連携によるESDコンソーシアム拠点となっています。

ESDに関するユネスコ世界会議において、5つの優先行動分野の政策的支援、機関包括型アプローチ、教育者、ユース、ローカルコミュニティからなるグローバル・アクション・プログラム(GAP)が公式に開始されました。三重県には、本学を含む15の小・中・高のユネスコスクールが登録されていますが、本学は「ESD in 三重 2014」の活動を通じて、ユネスコスクール登録校の拡大を図り、地域に根ざし、世界に通用するグローバル人材を育成することで、世界一の環境先進大学としての社会的責任を果たします。



持続可能な開発のための教育(ESD)プログラム修了証授与式(2014.4.25)



ベントネットを用いた海洋生物調査



ESDユース宣言



加藤重治氏による基調講演
(独)理化学研究所理事長特別補佐